

1 昨年度の取り組みにおける成果と課題

成果		課題	
1年	2年	1年	2年
<ul style="list-style-type: none"> ・水やりなどの世話がよくできた。観察カードは、国語科の学習を生かしながら、よく見て絵や文に表すことができた。 ・アサガオのつるを利用してリースを作るなど、日常生活の中に活動や体験を継続させることができた。そのことにより、生命の大切さに気付くことができた。 ・2年生と楽しく「おもちゃランド」の活動を通して、関わりが深まった。 ・「お手伝い大作戦」の活動を通して、家族の一員として自覚が芽生えた。 ・近隣の幼稚園の年長児に紙芝居で学校生活について伝えたことで、自分や友達の成長を実感できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現方法の1つとして観察カードを活用し、観察の観点を示したことで、におい・色・手触り等を確認、よく見て絵や文に具体的に表すことができるようになった。 ・1年生と「おもちゃランド」の活動を通して、2年生としての自覚が高まった。 ・ミニトマトを種から育てたことにより、作物への愛着がわき、楽しさや収穫の喜びを経験することができた。 ・動植物の世話やおもちゃ作りを通して、自発的に遊び方などを考えて取り組めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植物の世話を継続的に行う体験を継続的に行うことを通して、生命のつながりを実感し、成長の喜びや命の大切さに気付かせていく必要がある。 ・感染症拡大防止のため、異学年や地域の方との交流の時間が取れず、活動が制限されてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の理科・社会科へ領域を広げるためのつながりを考え、見方や考え方の視点を広げていく。 ・動植物の世話を行う体験を通して、生命の大切さに気付かせていく必要がある。 ・感染症拡大防止のため、地域の方々との交流や町たんけんを行えなかった。地域の場所や人々とかかわったり、愛着を深めたりする機会を増やす必要がある。

2 課題を踏まえて次の取り組みを行います

1年	2年
<ul style="list-style-type: none"> ・アサガオ、チューリップなど、種類の違う植物を育てる活動を通して、生命の不思議さや尊さ、大切さに気付かせる。 ・2年生の「おもちゃランド」で遊ぶことや、できる範囲で6年生とのかかわりを深めるなどし、異学年交流の楽しさを実感するとともに、生活の決まりを身に付け、2年生に向けての意識を高める。 ・昔遊びを楽しむ活動の際に、遊び方や当時の様子について地域の方からお話を聞く機会を設け、交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語「かんさつ名人になろう」での学習を活かして、視点を明らかにして観察し、前時に観察したときと同じところや違うところを、見つけられるようにする。 ・生き物(カブトムシ、カマキリ、メダカ、ダンゴ虫など)と触れ合い、世話をする機会を設ける。 ・植物を育てるときに実から種を採り、その種を植えて育てていくことで、「花から実、種」という植物の生長の様子や、命のつながりに気付かせる。 ・学校外の活動を取り入れ、安全に気を付けて町たんけんを実施し、町や地域の人々と関わる機会を設ける。

